

6/8

新型コロナワクチン接種予約や実施状況



左から、①電話予約に対応する職員。②夏野所長によるワクチン接種。③混雑を避け、接種者が入れ替わる様子。④待合の混雑を避けるため、町有バスを設置して対応。

町内では、5月21日から75歳以上の新型コロナワクチン接種を開始しており、6月末現在、50歳までの接種者の予約を開始しています。6月8日に行われた70歳から74歳の280名を対象とした接種予約では、円滑に進められるよう予約用の専用電話回線と対応職員を増員し、今まで以上に円滑に予約処理ができるよう態勢を整えました。また6月20日には150名を対象とする集団接種が町内で初めて行われ、集団接種をスムーズに

進めるために十勝歯科医師会（大滝達哉会長）の協力のもと、豊頃歯科診療所の夏野所長がワクチン接種を担当しました。担当職員は「様々な方々の協力で速やかに接種ができています。今後も町内の接種対象者が速やかにワクチン接種ができるよう、改善を重ねて努めていきたい」と話しており、現在までに412名が1回目の接種を終え、うち251名が2回目までの接種を終了しています（6/20現在、医療従事者等含む）。

6/7

小学校、保育所で人権の花運動



6月7日に大津小学校、11日に茂岩保育所、17日に豊頃小学校で「人権の花運動」が行われました。豊頃町人権擁護委員の中野稔さんは「人権とは一人ひとりが持つ大切な権利。人権の花運動は毎年やっていますが、この機会に自分自身や友だちの人

権を守ることを、助け合うことの大切さを改めて思い出し、その気持ちをもって花を育ててください」と挨拶しました。子どもたちは慣れないながらも一生懸命に花を植え、「大きく育つように大切に育てます」と挨拶をしました。

広報とよころ

広報とよころ

6/3

ライオンズクラブが少年団へ贈呈



豊頃ライオンズクラブ（西本安志会長）が、町少年団本部（林俊則本部長）へ、町内のスポーツ少年団の活動助成金を贈呈しました。西本会長は「少しでも皆さんの活動に役立ててもらえれば」と林本部長へ目録を手渡し、これを受けた林本部長は「現在、コロナ禍であっても少年団活動を頑張っている子どもたちへ、大事に使わせていただきます」と感謝を伝えました。

6/8

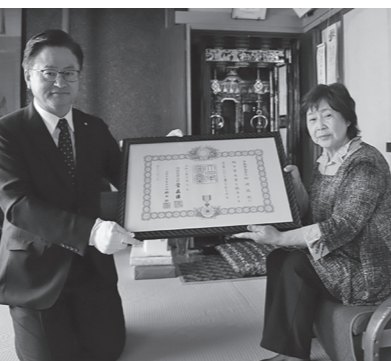
豊頃医院 山本院長が初個展



豊頃医院 山本馨院長がガレリアオオリザ（帯広市 ミントカフェ内）で、初の個展である「陰翳方丈展」と題した写真展を、8日から13日まで開催されました。同展にはモノクロのフィルムカメラで撮影した「はるにれの木」や「ジュエリーアイス」の写真のほか、陰影のなかに捉えた身近な生活風景を撮影した作品等、約20点が並べられ、多くの方が訪れていました。

6/15

故松崎政利さんに旭日単光章



故松崎政利さん宅（牛首別）において、妻の美栄子さんが按田町長から叙勲「旭日単光章」の伝達を受けました。故松崎さんは、豊頃町議会議員を平成15年から3期12年間務められました。その間、産業厚生常任委員長を務められ、茂岩地区畑作地帯総合整備事業において、湿害対策等の土地基盤整備を進め、本町農業の振興に大きく貢献されました。

5/26

浦島観光大使が外国語の授業を実施



浦島観光大使が豊頃小学校の6年生を対象に英語の授業を行いました。授業では6年生の児童がコーラスに参加した「Keep me in Your Heart」の英歌詞の紹介を中心に行われ、子どもたちも積極的に英語に親しんでいました。最後に浦島観光大使が撮影した写真と楽曲を併せた動画を披露して終了し、子どもたちからは「コーラスの参加など、貴重な体験をありがとうございました」と伝えられました。

6/1

帯広青年会議所とSDGs推進で連携



町は、一般社団法人帯広青年会議所（JCI帯広 鈴木信宏理事長）とSDGs（持続可能な開発目標）推進に関する連携協定を結びました。SDGsは持続可能なまちづくりの指針のひとつとなっており、今回の連携においては、町と帯広青年会議所が互いの資源を有効に活用し協働による事業を推進していくことで、持続可能なまちづくりを進めていくことを目的としています。

6/17

藤田議長が議長会から表彰



豊頃町議会議員として永きにわたり議員活動を通じて地方自治の振興発展に寄与された功績が称えられ、北海道町村議会議長会（渡部孝樹会長）から藤田博規議長に対して自治功労表彰が贈られました。表彰状は、議場において令和3年第2回豊頃町議会定例会2日目の開会前に、中村副議長から藤田議長に伝達されました。

役場だより

役場だより